# TC 46/SC 4/WG11 RFID in libraries会議報告

場所：Library of Congress , Washington, D.C. USA

日時：2014年5月5日（月）9:00-12:00　＊実際は9:10-10:55

参加者：デンマーク2（現コンビーナLeif Andresen、新コンビーナPreben Nielsen)、フィンランド3（SC4議長1＋事務局2）、スウェーデン1（SC9の人　途中参加）、イタリア1（Monomi Paolo）、英国1（Brian Green）、米国2、ドイツ1、日本1

1. Role Call

2. Approval of agenda

3. Introduction

3.1 General introduction

コンビーナのLeifから、昨年のミーティング以降の動きについて報告があった。

3.2 Ballot FDIS ISO 28560-1, ISO 28560-2, and ISO 285660-3

小規模改訂することになっているISO28560-1、ISO28560-2、ISO28560-3については、FDIS投票が2014年1月27日から3月27日に行われた。投票の結果FDISは可決され、これらの規格は出版される運びとなった。

3.3 Update of RFID in libraries. Q&A

WG11のウェブサイト（http://biblstandard.dk/rfid/）では、RFIDとISO28560の関連情報を提供しているが、4月にQ&Aページの更新を行った。

4. Future Work for ISO/TS 28560-4

新規に制定中の技術仕様書ISO/TS28560-4は、TS投票が2014年1月1日から4月1日に行われ、賛成21の可決で出版される運びになった。また、SC4議長のJuhaから、日本が提案していたISO28560-5について、International Library Item Identifier としてSC9のNWIPとすべく、日本がSC9総会でプレゼンテーションする予定であること等の情報提供があった。Leifや他の参加者から、Identifierのドラフトの内容等についていくつか質問が出された。

5. State of the Art Report for Libraries

　図書館のためのRFIDの技術的動向とRFIDのプライバシーに関するEU規格の出版予定について、GreenがeditorであるPaul Chartier（欠席）のメールを紹介した。RFID技術はいまだに確立しておらず、今後も注視が必要であることが確認された。参加者からフィンランド、デンマークの導入状況などが紹介され、その後の議論で、日本をはじめとする他国の状況がどのようになっているかの調査が必要だとの結論になった。→決議案(10)

6. Any other business

6.1 New convener

今回でLeif Andresenがコンビーナを退くこと、新コンビーナの候補としてPreben Nielsenが紹介され、承認された。→決議案(7)

参加者の一人から、Leifの貢献に感謝する文章を決議に盛り込むことが提案され、了承された。→決議案(1)

7. Approval of resolutions

決議案が検討され、以下の案で承認された。

(1) WG11は、Leif Andresenの7年に渡るコンビーナとしての貢献と図書館のためのRFIDに関する規格開発に対する働きに感謝する。

(2) WG11は、Tommy Schomacker のISO 28560-3の開発当時からの貢献に感謝する。彼の辞任は残念だが、引退後の生活が良きものになるように祈る。

(3) WG11は、Tommy Schomacker と Paul ChartierのISO 28560-1、ISO 28560-2、 ISO 28560-3の小規模改訂に対する働きに感謝する。

(4) WG11は、Paul ChartierのISO/TS 28560-4開発に対する働きに感謝する。

(5) WG11は、Paul Chartierに、ISO/TS 28560-4の最終版を2014年5月13日までにコンビーナに送付するよう求める。コンビーナは、そのTSをSC4事務局に送付する。

(6) WG11は、ISO/TS 28560-4に従って、Paul Chartierに、来年、RFIDの開発に関する中間レポートを作成するように求める。WG11は、Paul Chartierに、そのためのアドホックな作業グループを設置することを指示する。

(7) WG11は、Danish Standardsに、WG11の新コンビーナの候補としてPreben Aagaard Nielsenを挙げてくれたことを感謝するとともに、SC4に彼をW11の新コンビーナとして推薦する。

(8) WG11は、SC4に対して、WG11ウェブサイトに掲載する関連文書の作成が続けられるように、規格開発後もWG11を継続させるよう依頼する。

(9) RFIDに係る基本技術の開発速度はいまだに速く、RFIDの規格もこれらの変化に対応していかなければならない。WG11は、ISO28560 について、将来的に修正・追加の必要が出てきた際に対処できるようにしていく。

(10) WG11は、Mick Fortune、Alan Butters、Vinod Chachra、Akira Miyazawaに対して、2014年6月までに、各国でのUHF帯のRFIDの図書館における導入状況をコンビーナに提出するように求める。

8. Close of meeting